

働くものの基礎講座 2018

3月25日(日) 13:30~15:30

山口県教育会館 3階 第4研修室

講師 長久啓太さん



(岡山県労働者教育協会専従事務局長)

講座テーマ

著書/もの見方たんけん隊 (2014/1) 労働組合たんけん隊 (2017/10)

私たちの生きづらさを“科学”する

はたらけど はたらけど
猶わが生活楽にならざり ちっと手を見る

有名な石川啄木の歌です。1910年ころの作品だということですから、かれこれ100年以上も昔の歌。

少し前、小林多喜二の小説「蟹工船」が売れ始め話題になりました。今は吉野源三郎の「君たちはどう生きるか」がヒットし、書店に平積みされています。

科学技術の発達は100年前とは比べものになりません。人間の暮らしは便利になりましたが、そこで生みだされた時間は非人間的な長時間労働に奪われています。

そんなもとの、「生きるのがつらい」、「組合の会議が苦痛だ」、「なんのために働いているのかわからない」、こうした声が広がっています。

働くものの生活や労働実態はほんとうに深刻で、自分を取り戻す時間さえ失っているのではないのでしょうか。

そうした実態を作り出したのは、さまざまな分断によって圧倒的多数の労働者・国民がバラバラにさせられているからではないのでしょうか。

だれもが人間らしく働き、人間らしく幸せに生きられる社会はどうかすれば実現できるのか、そうした社会進歩、社会変革の展望をつかむ学習教育活動が重要になっています。

今回、2018年度から新たに設けられた「入門コース」をサポートしようと、スクーリングも兼ねた連続講座を計画しました。労働組合や民主団体、各地域で学習運動を大きく広げていく第一歩としての基礎講座です。ぜひ、誘い合って成功させましょう。

年間3回の連続講座

第2回(夏)、第3回(秋又は冬)も予定します。どなたでも自由に参加できます。

●勤労者通信大学受講者、月刊「学習の友」読者、山口県学習協会会員はすべての講座の資料代不要です。

●未受講者、未会員の方は資料代として各講座ごとに1000円をご負担ください。

勤労者通信大学入門コースの内容

- 第1章 生活のゆとりと人間らしさ
- 第2章 資本主義社会で生きている
- 第3章 社会は進歩・発展する
- 第4章 民主主義ってなんだ!
- 第5章 私たちが未来を決める

教科書は全体で150ページ程度です。

山口県勤労者学習協会

会長 河津盛正 事務局長 山本祐三
連絡先 県労連(石田) 高教組(森澤)